大単元名

聞き取り名人になって水尾図書館をアピールしよう！

- 大単元目標：①図書館等を見学し、利用している人や働いている人の願い等を調べ、公共施設が自分たちの生活と深く結びついていることに気づく。(社会)
②大事なことを落とさないように気をつけながら、働く人の話を聞いてメモを取ることができる。(国語)

- 各教科・単元：①社会…「市内のようす（12時間配当）」
②国語…「図書館へ行こう（2時間配当）」
「メモを取りながら話を聞こう（4時間配当）」

評価：社会科と国語科の指導内容に合わせて評価を行う。

わたしたちの茨木 指導の手引き P12～18 参照 「市内のようす（図書館をたずねて）」

	知・技	思・判・表	主体
	身近な地域や自分たちの市の様子を大まかに理解することができる。(白地図等ワークシート)	・身近な地域や市の様子をとらえ、場所による違いを考えて表現することができる。 (発表) ・人々が利用する主な公共施設（特に図書館）の場所や施設としての働きについて調べ、表現することができる。 (ポスター)	・身近な地域や茨木市の様子の学習をもとに、茨木市のいいところを発見しようとしている。 ・地域の図書館について調べ、中央図書館のよさをアピールできるように調べたことや考えたことを表現しようとしている。(授業のようす・見学メモ)

新しい国語三上 研究編 「メモを取りながら話を聞こう」

	知・技	思・判・表	主体
	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア ・必要な語句の書き留め方を理解し使っている。(2)イ	◎「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、自分の考えをもっている。A(1)エ	・進んで大事なことを記録し、学習の見通しを持って話を聞いて情報を集めようとしている。

言語活動：水尾図書館の見学で学んだことをもとに、水尾図書館ポスターでアピールしよう！！

活動計画

	社会 「市内のようす」	国語 「図書館へ行こう」 「メモを取りながら話を聞こう」
1次	市の地形や土地利用の仕方などを調べ、調べた地域の特色をまとめる。 (知・技)	学校図書館へ行き、日本十進分類法や本の並び方について知る。
2次	公共施設を利用した経験を話し合い、図書館見学の計画を立てる。	大事なことを記録するための方法を理解し、話の聞きかたを考える。
3次	図書館見学	メモを取りながら話を聞く。
4次	図書館見学をしてわかったことやすごいところをポスターにまとめる。	

スケジュール

日程	学習活動計画
第一次	<p>●社会の時間</p> <p>市の地形や土地利用の仕方などを調べ、調べた地域の特色をまとめる。</p> <p>●図書の時間</p> <p>図書館について知っていることを話し合う。</p> <p>図書室と図書館の違いを考える。</p>

<p>第二次</p>	<p>図書館見学の準備（国語・社会教科横断）</p> <p>① 図書館見学で見てきたいこと、聞きたいことを話し合う。</p> <p>見学するときにメモを取る必要があることに気づく（社会）</p> <p>② 実際にメモを取りながら、良いメモを書くためのポイントを学習する。（国語メモ第2時相当）</p> <p>③ 前時の学習を生かしメモを取る練習を行い、友だちのメモと見比べ、図書館見学本番に向けて準備する。（国語メモ第3・4時相当）</p>
<p>第三次</p>	<p>図書館見学本番</p> <p>見学メモにすごいと思ったところや質問の答えなどをメモしておく</p>
<p>第四次</p>	<p>見学してきたことをもとに、水尾図書館のすごいところをワークシートにまとめ、グループでポスターを完成させる。（社会2時間程度）</p>

ポスターイメージ

Aさん	Bさん
Cさん	Dさん

ワークシートイメージ

みずおとしよかん
水尾図書館のここがすごい！！